

令和9年度

学生募集要項

〔 総合型選抜Ⅰ 〕

工学部



宮崎大学

宮崎大学の教育理念とアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に、地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1. 人間性の教育
高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。
2. 社会性・国際性の教育
地球規模の視野に立ち、社会の多様な要請に対応して、柔軟で論理的な思考力をもって、社会の発展に積極的に貢献できる社会性・国際性を涵養する。
3. 専門性の教育
新たな知の創造につながる専門教育を実施し、獲得した知識・技能を総合的に活用して、自ら発見した課題に適用し、解決する創造的思考力や態度を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の育成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力、及び意欲を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

1. 本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人
2. 身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人
3. 身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人

【入学者選抜の基本方針】

1. 求める学生像に沿って、多様な入学者選抜方法により多面的・総合的に選抜する。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

宮崎大学ではこのような教育理念を各学部、学科、課程において達成するために、それぞれアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）を掲げています。

したがって、本学に入学を希望する人は、教養教育及び学部専門教育の内容や各学部、学科、課程のアドミッション・ポリシーを十分に理解した上で志願してください。

令和9年度 入学試験日程

	総合型選抜 I
学 科 等	工学科 全プログラム
WEB 出 願 登 録 期 間	令和8年9月17日(木)～9月28日(月) 17時まで
出 願 期 間 ※期間内必着	令和8年9月24日(木)～9月28日(月) 17時まで
受験票印刷 可能日	令和8年10月2日(金)以降
試 験 日	【第1次選考】 書類選考 【第2次選考】 令和8年11月16日(月)
合 格 者 発 表	【第1次選考】 令和8年10月20日(火) 【第2次選考】 令和8年12月4日(金)
入学手続期間	令和9年2月17日(水) 17時まで

自然災害や人為災害、感染症の全国的な感染拡大等により、上記日程での実施が困難な場合に出願期間、試験日、選抜方法等について変更することがあります。
変更することを決定した場合は、直ちに本学ホームページ上でお知らせしますので、本学からの発表にご留意ください。

目 次

1. 学部のアドミッション・ポリシー	1
2. 募集人員等	3
3. 出願資格等	3
4. 出願手続	7
5. 受験票の印刷	11
6. 選抜方法等	11
7. 受験上の注意事項	15
8. 不正行為について	16
9. 合格者発表	17
10. 入学手続等	18
11. 入学手続に関する注意事項	21
12. 個人情報の取扱いについて	22
13. 入学試験成績の情報開示	23
14. 統計資料	24
15. 試験場配置図	25

※学生寄宿舍への入居を希望する者は「10. 入学手続等 (13) 学生寄宿舍への入居」をよく読んでください。

1. 学部のアドミッション・ポリシー

工学部

工学科

1. 求める学生像

工学部では、宮崎県唯一の工学系学部として、「宮崎に根ざし世界に目を向けた工学部」を目標に、人間性が豊かで、コミュニケーション能力が高く、確実な基礎学力と幅広い応用能力を身に付け、21世紀の高度な科学技術分野や最先端技術分野で活躍できるような、問題発見・解決能力を備えた創造性豊かな技術者の育成を目指しています。そこで、以下に示す「入学後の学修に必要な能力・適性」を多面的かつ総合的な評価手法によって選考し、受け入れます。

- 1) 工学技術者を目指し、地域社会や国際社会の発展に貢献する意欲がある人（主体性）
- 2) 自ら考え、主体的に学修する目的意識を有する人（主体性）
- 3) 大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な協調性及びコミュニケーションの基本的なスキルを身に付けた人（協働性、表現力）
- 4) 工学における多様な分野にも興味を持ち、創造性豊かな技術力と問題発見・解決能力を身に付けて社会に貢献する意欲のある人（学問への関心、思考力）
- 5) 工学専門分野を修得できる基礎学力を有する人（知識・理解、思考力）

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
総合型選抜Ⅰ	
私費外国人留学生選抜	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜方法	求める能力や適性等	知識・技能	思考力 表現力	主体性 協調性 学問への関心
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○	
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎	
	主体性評価			◎
学校推薦型選抜Ⅰ	筆記試験	◎		
	小論文		◎	○
	面接	○	○	◎
	提出書類	○	○	◎
総合型選抜Ⅰ	筆記試験	◎		
	小論文		◎	○
	面接	○	○	◎
	提出書類	○	○	◎
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	○	
	小論文	○	◎	
	面接	○	○	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高校で履修した科目に関する基礎学力について十分な深達度を得ていることが望まれる。さらに、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれる。

2. 募集人員等

学 部	学科	プログラム	募集人員
工 学 部	工 学 科 (注)	化学生命プログラム	2
		土木環境プログラム	2
		半導体サイエンスプログラム	2
		電気電子システムプログラム	2
		機械知能プログラム	2
		情報通信プログラム	2
	合 計		

ただし、合格者が募集人員に満たない場合は、学校推薦型選抜にその満たない人員を加えます。

(注) 工学部工学科のプログラム配属について

合格者は、入学時に合格したプログラムへ仮配属（各プログラムとリンクする系に配属）されます。

1年次の授業で各プログラムについて理解を深め、2年次から各プログラムへ本配属されます。基本的には仮配属のプログラムへ本配属されますが、1年次の成績が上位かつ受入定員内であれば、再度プログラムの希望を出し、仮配属と異なるプログラムへの本配属も可能です。

ただし、学校推薦型選抜及び総合型選抜では、志望動機が明確な入学希望者を対象としているため、入学から卒業までプログラムの変更は原則できません。

3. 出願資格等

出願資格は次のとおりです。

また、高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。

(1) 高等学校を令和8年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者

(2) 志望プログラムに対する熱意を有する者【注】

(3) 合格した場合は入学することを確約できる者

【注】入学から卒業までプログラムの変更は原則できません。

注意事項

1) 他の選抜への出願について

本学の総合型選抜へ出願する場合、本学の他学部を含む国公立大学・学部等の総合型選抜へ出願することはできません。また、本学を含む国公立大学・学部等の学校推薦型選抜へ出願することもできません。

ただし、本学の総合型選抜の結果が不合格である場合に限り、本学を含む他の国公立大学の総合型選抜、学校推薦型選抜及び一般選抜へ出願できます。

また、他の国公立大学の総合型選抜及び学校推薦型選抜の結果が不合格である場合に限り、本学の総合型選抜へ出願できます。

2) 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に宮崎大学学び・学生支援機構入試課へご相談ください。相談内容によっては本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早急にご相談ください。

次項に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

①相談期限

相談期限は、令和8年8月21日(金)までとします。

相談期限以降でも、不慮の事故等のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に宮崎大学学び・学生支援機構入試課へ連絡してください。

②相談方法

宮崎大学のホームページから相談申請書をダウンロードして、次の内容を記載し、医師の診断書等を添えて提出してください。(郵送可)

- ア 志願者氏名・選抜区分・志望学部・学科・課程・プログラム・コース
- イ 障がい等の種類・程度
- ウ 受験上・修学上の配慮を希望する事項
- エ 出身学校でとられていた配慮事項
- オ 日常生活の状況
- カ 住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うことがあります。

※相談申請書ダウンロード先：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/1789-2.html>

③相談先



〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電 話：0985-58-7138
FAX：0985-58-2865
(土曜日・日曜日及び祝日を除く)

相 談 例	
①視覚障がい	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの
②聴覚障がい	通常の話声を解することが不可能又は困難なもの（補聴器等を使用している者を含む）
③肢体不自由	1. 肢体不自由により、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの 2. 肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの
④病弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの 2. 身体虚弱により、生活規制を必要とするもの
⑤発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの
⑥その他	①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの（例：吃音など）

3) 「こども性暴力防止法」の施行に伴う実習等に関するお知らせ

こども性暴力防止法の施行により、2026年12月25日から、学校や保育所、学習塾など、児童等（※）に対して教育・保育などを行う事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められます。

このことにより、児童等と接する業務に従事する者について、特定性犯罪前科の有無を確認する制度が適用されます。

本学工学部生が教育実習やインターンシップ、ボランティア活動等（以下、「実習等」という。）に参加し、児童等と接する業務に従事する場合も本制度の対象となります。つきましては、以下の内容をご確認いただいたうえで、出願を検討いただきますようお願いいたします。

※児童等：幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校、幼保連携型認定こども園に在籍する幼児、児童または生徒、18歳未満の者、高等専門学校の1～3年生、専修学校の学生

1. 実習等を履修する学生への法に基づく犯罪事実確認について

児童等と接する業務に従事する実習等を行う前に、実習施設から特定性犯罪前科の有無の確認が行われる可能性があります。特定性犯罪前科の確認が必要であると判断された場合、実習生本人よりこども家庭庁への戸籍等の提出が必要となります。確認の結果、特定性犯罪前科が確認された学生は当該実習等を行うことはできません。

2. 卒業要件について

児童等と接する業務に従事する実習等が卒業のための必須科目となっている学部・学科においては、当該実習等が行えない場合、卒業要件を満たすことができず、卒業できない可能性があります。

ただし、工学部においては、当該実習等が卒業のために必須となっている科目はありません。

3. 教育職員免許状の取得について

本学工学部に入学後、教育職員免許状の取得を希望している方は、特定性犯罪前科がある場合、児童等と接する業務に従事する実習（「教育実習」がこれに該当します。）を行うことできないことにより、当該免許状の取得ができない可能性があります。

4. 入学手続き時及び入学後の対応について

本学工学部では、入学手続き時に『実習施設等が行う「犯罪事実確認」への同意書』を提出いただきます。

また、入学後に児童等と接する業務に従事する実習等を行うこととなった場合は、その段階で『特定性犯罪前科がないことについての誓約書』の提出を求めます。

（参考）制度の詳細はこちらをご覧ください。

こども家庭庁 HP「こども性暴力防止法（学校設置者等および民間教育保育等事業者による 児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」

リンク：<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou>

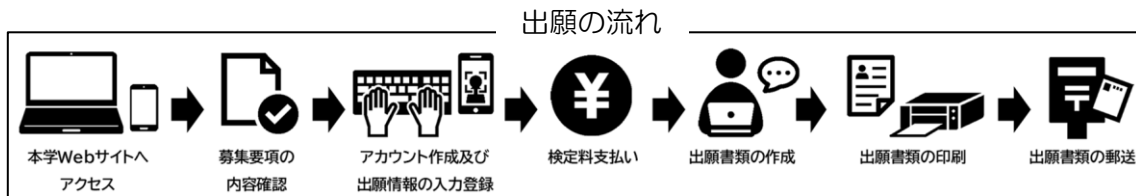
本件問い合わせ先：宮崎大学学び・学生支援機構教育企画課 gakukyo@miyazaki-u.ac.jp

4. 出願手続

入学を志願する者は、次の（１）～（５）により、手続を行ってください。

Web出願登録後、入学検定料を支払い、（２）の提出書類を郵送することで、出願完了となります。

（５）の受付期間内に提出書類の提出がない場合、出願未完了（登録データは無効）となりますので、注意してください。



（１）インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い

- ① インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料17,000円の支払い（以下「Web出願登録」という。）が必要です。また、検定料に加えて支払方法に応じたシステム利用料が必要です。クレジットカード決済は340円、コンビニ決済及びPay-easy決済は250円です。システム利用料に改定があった場合は、改定後の金額となります。

※個人成績開示を希望する場合は、開示手数料800円を入学検定料と併せてお支払いください。

なお、クレジットカード決済を利用する場合は別途システム利用料として16円が加算されます。

<Web出願システム>

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/Internet-apply.html>

※システムについてはPCからの操作を推奨します。

- ② インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項は、次のとおりです。
- ア. 入学検定料の支払い方法を確認してください。クレジットカード、コンビニエンスストア及びPay-easy決済のいずれかで支払い可能です。
 - イ. 電子メールアドレスが必要です。フリーメールのアドレスやスマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスも利用可能です。なお、高等学校等卒業後も使用できるメールアドレスを推奨します。（Web出願システムからのメールは、「nyushi-j@miyazaki-u.ac.jp」から送信されますので、受信できるように予め設定等を確認してください。）
 - ウ. 受験票及び写真票に使用する写真データが必要です。上半身脱帽正面向き無背景で、直近3か月以内に撮影した100KB～5MBサイズのjpg又はpngデータをアップロードしてください。
 - エ. A4サイズ用の紙が印刷できるプリンタ（モノクロ、カラーどちらでも可）が必要です。印刷用紙は普通紙で構いません。（出願情報の登録内容を印刷する必要があります。）
 - オ. 「（２）提出書類」の「② 出願者が準備する必要提出書類」を用意してください。書類の内容によっては、準備に時間を要するものがあります。
- ③ 自宅や在籍する学校・予備校等に、Web出願登録ができる環境が整っていない場合は、事前に、宮崎大学学び・学生支援機構入試課（0985-58-7138）まで相談してください。

※本学の指定する激甚災害により被災した志願者については、検定料免除の特別措置を希望することができます。以下のURLを参照し、該当する方は出願前に必ず本学学び・学生支援機構入試課（0985-58-7138）へ連絡してください。

<激甚災害により被災した志願者の入学検定料免除について>

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-menjo.html>



(2) 提出書類

Web出願登録完了後、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に次の①及び②の書類等を入れて提出してください。

① Web出願システムから登録・印刷（A4サイズで印刷）

提出書類	摘 要
志願票	Web出願登録及び入学検定料支払い後、A4用紙に印刷したもの。検定料支払い後は、登録内容は変更できませんので支払い前に間違いがないか十分確認してください。
宛名ラベル	角形2号封筒の表面に宛名ラベルを貼り付けて、その封筒の中に提出書類を全て封入のうえ、提出してください。
自己推薦書	Web出願システム上で入力後、A4用紙に印刷し提出してください。字数は800字以内とします。サンプル様式及び入力画面のイメージは②に記載のURLに掲載していますので、参考にしてください。
活動報告書	Web出願システム上で入力後、A4用紙に印刷し提出してください。字数は800字以内とします。サンプル様式及び入力画面のイメージは②に記載のURLに掲載していますので、参考にしてください。 入力の際は、「6. 選抜方法等」（11ページ）をよく読んで記入してください。

② 出願者が準備する必要提出書類（提出書類に記入する場合は、黒ボールペン又は黒ペンを使用してください。）

本学所定の様式は本学ホームページからダウンロードしてください。

URL : <https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/recommen/sogo.html>

提出書類	摘 要
調査書	文部科学省で定めた様式により出身学校長が作成し厳封したもの。 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者については、調査書の様式に準じて出身学校長が作成したもの。 <u>※令和8年4月以降に発行されたものを提出してください。</u>
根拠資料	Web出願システム上で作成した活動報告書に記載した事項について、根拠資料の写し（A4サイズ）あるいはそれに代わる資料を提出してください。

調査書の記載についての注意事項（出身高等学校長の皆様へ）

- ① 「2. 各教科・科目等の学習の記録」欄の「修得単位数の計」は必ず記入してください。また、第3学年における「評定」欄を記載できない場合は、その理由を付してください。
- ② 「校長名」及び「記載責任者職氏名」は必ず明記し、押印（写しは不可）してください。
- ③ 志願者本人に帰責されない身体・健康上の理由*によるやむを得ない欠席日数があることを、調査書等から把握した場合には、志願者が不利益を被ることがないように配慮します。

*病気・事故等。例えば、新型コロナウイルス感染症のいわゆる罹患後症状と考えられる症状や月経随伴症状等も含まれます。

(3) 提出方法

Web出願登録及び入学検定料支払い後にWeb出願システムから宛名ラベルを印刷してください。市販の角形2号封筒(240mm×332mm)にそれを貼り付け、(2)の提出書類を全て入れ、郵送(一般書留・速達)又は持参してください。

(4) 提出先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学 学び・学生支援機構入試課(事務局棟1階)
電話:0985-58-7138
FAX:0985-58-2865

(5) 提出書類(出願書類)の受付期間等

出願期間 令和8年9月24日(木)～9月28日(月)17時まで(必着)

- ①提出は**原則**、郵送してください。ただし、出願期間の平日9時から17時までには持参可能です。
- ②郵送の場合は必ず**一般書留・速達**とし、**入試課へ期間内必着(17時必着)**です。**期間内に到着しない場合は受理しません**ので郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。
また、**電話等による出願書類到着確認の問い合わせには応じていません**。到着確認を行いたい場合は、郵便追跡サービス(郵送時に郵便局で発行される受領証等に記載されている「お問い合わせ番号」が必要です。)をご利用ください。
- ③Web出願登録期間については令和8年9月17日(木)～9月28日(月)17時までとしており、事前に登録可能です。
なお、Web出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い、上記の受付期間内に(2)の提出書類を全て郵送又は持参することで完了します。

(6) 注意事項

- 1) Web出願システムにおいて出願登録を完了した後は、志望プログラムの変更はできません。
※登録内容に誤りがある場合、検定料の支払い前であれば出願情報を削除し、最初から登録をやり直すことができます。
検定料の支払い後は出願情報の削除ができません。変更が必要な場合は、改めて出願登録及び検定料をお支払いいただく必要があります。
なお、検定料の返還については、下記「返還請求方法」をご参照ください。
- 2) 提出書類に不備がある場合には受理しないことがありますので十分注意してください。
- 3) 受付後の提出書類等は返還しません。
- 4) 出願手続及び入学手続において不正な行為があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- 5) 第1次選考の不合格者に対しては入学検定料のうち13,000円を返還します。
- 6) 既納の検定料及び個人成績開示請求手数料は、以下の場合を除き、返還いたしません。
 - ①. 提出書類を郵送又は持参しなかった場合
※Web出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い、(5)の受付期間内に(2)の提出書類を全て郵送又は持参することで完了します。
 - ②. 提出書類の不備や出願資格を満たさない等の理由により出願が受理されなかった場合
 - ③. 誤って二重に支払った場合

返還請求の方法

検定料返還申請書を以下の本学ホームページからダウンロードし、指定の送付先へ**令和9年3月31日(必着)までに**、速やかに郵送してください。なお返還にかかる手数料は、原則、志願者本人の負担とします。また、令和9年4月1日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんのでご了承ください。

※入学検定料返還手続きについて

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-henkan.html>



【検定料返還申請書送付先】

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

宮崎大学財務部財務課出納係

電話：0985-58-7122 (土曜日・日曜日及び祝日を除く)

5. 受験票の印刷

令和8年10月2日（金）以降に、Web出願システムの「出願状況確認」から受験票の印刷が可能となります。A4用紙に印刷し、受験時に必ず持参してください。

6. 選抜方法等

(1) 選抜方法

I. 選抜方法等

【第1次選考】

調査書、自己推薦書及び活動報告書により選考を行います。

調査書及び自己推薦書では、高等学校等での学習及び出席状況や、今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについて見ます。

活動報告書については、以下の表で志願する各プログラムの記載事項を確認して、作成してください。

また、その活動に関わる根拠資料があれば、その写し（A4サイズ）あるいはそれに代わる資料を追加資料として提出してください。

プログラム	記 載 事 項
化学生命	学業、課外活動、チャレンジなどの諸活動とそのアプローチを評価します。そこで、活動報告書では、特に力を入れた活動を選び、活動内容、その中で直面した問題を解決に導いた過程と創意工夫、得られた成果について記述してください。 なお、資格取得、表彰、大会・イベント参加などの活動に限定する必要はありません。
土木環境	学業、課外活動、チャレンジなどの主体的活動とそのアプローチを評価します。活動報告書には、まず、それらの主体的活動を箇条書きで列挙してください。次にその中で特に力を入れた活動を選び、具体的な内容、その中で直面した問題を解決に導いた過程と創意工夫、得られた成果について記述してください。 （主体的活動には例えば以下に示す資格等の取得も含まれます。ただし、資格の種類はこれらに限定しません。また、資格取得、表彰、大会・イベント参加などの活動に限定せず自己PRになると考えるものを積極的に挙げてください。） 資格例：数学検定2級、測量士補、英語外部試験（英語検定、TOEIC、GTEC等）
半導体サイエンス	課題研究、課外活動、生徒会活動、卒業制作、ボランティア活動などがあれば、その中で自主的に行った諸活動の状況や、英語外部試験（英語検定、TOEIC、GTEC等）、各種資格の取得にむけた主体的な活動や、各種表彰などの実績をもとに評価しますので、これらについて具体的に記述してください。 なお、資格取得、表彰、大会・イベント参加などの活動に限定する必要はありません。
電気電子システム	学業、英語外部試験（英語検定、TOEIC、GTEC等）、課外活動、などの諸活動とそのアプローチを評価します。そこで、活動報告書では、特に力を入れた活動を選び、活動内容、その中で直面した問題を解決に導いた過程と創意工夫、得られた成果について記述してください。 なお、資格取得、表彰、大会・イベント参加などの活動に限定する必要はありません。

機械知能	<p>学業、課外活動、チャレンジなどの諸活動とそのアプローチを評価します。そこで、活動報告書では、特に力を入れた活動を選び、活動内容、その中で直面した問題を解決に導いた過程と創意工夫、得られた成果について記述してください。</p> <p>なお、資格取得、表彰、大会・イベント参加などの活動に限定する必要はありません。</p>
情報通信	<p>活動報告書では、特に力を入れた情報通信分野に関係する活動を選び、活動内容、その中で直面した問題を解決に導いた過程と創意工夫、得られた成果について記述してください。自分のアイデアを実現しようとした経験、あるいは、自らの意志で自主的に活動した経験及びそれらの経験を伝える表現力を重視し評価します。例えば、自作ソフトウェアについて記述する場合は、開発した動機、ソフトウェアの機能、システムの構成、考察など、その内容を具体的に記述してください。</p> <p>なお、資格取得、表彰、大会・イベント参加などの活動に限定する必要はありません。説明には、A4版片面5ページ以内で追加資料を、8ページに記載の根拠資料とは別に、つけることができます（様式は自由）。</p>

【第2次選考】

第1次選考に合格した者に対して、個人面接を行うとともにプログラムにおいて、筆記試験又は筆記試験と小論文の両方を課します。個人面接は提出書類も参考にして、志望するプログラムの「求める学生像」に基づいて、それに関わる分野への知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性、学問への関心を見ます。また、プログラムによっては志望するプログラムで必要となる高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する口頭試問を含みます。

各プログラムの試験実施方法は次のとおりです。

プログラム	教科・科目及び実施方法等
化学生命	<ul style="list-style-type: none"> • 筆記試験（60分） 数学を課し、数学Ⅰ及び数学Ⅱを出題範囲とします。 • 小論文（60分） 当日提示する課題について800字以内で論述させます。 • 個人面接（1人当たり20分程度）（口頭試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。 口頭試問では、化学及び英語について問います。 面接では、自己推薦書、調査書、活動報告書及び小論文の内容を基に質問します。
土木環境	<ul style="list-style-type: none"> • 筆記試験（60分） 数学を課し、数学Ⅰ及び数学Ⅱを出題範囲とします。 • 個人面接（1人当たり10分～15分程度） 複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。
半導体サイエンス	<ul style="list-style-type: none"> • 筆記試験（60分） 数学を課し、数学Ⅰ及び数学Ⅱを出題範囲とします。 • 個人面接（1人当たり20分程度） 複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。

電気電子システム	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験（60分） 数学を課し、数学Ⅰ及び数学Ⅱを出題範囲とします。 ・小論文（60分） 当日提示する課題について800字以内で論述させます。 ・個人面接（1人当たり15分～20分程度） 複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。
機械知能	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験（60分） 数学を課し、数学Ⅰ及び数学Ⅱを出題範囲とします。 ・個人面接（1人当たり15分～20分程度）（口頭試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。 口頭試問では、物理について問います。
情報通信	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験（60分） 数学を課し、数学Ⅰ及び数学Ⅱを出題範囲とします。 ・個人面接（1人当たり20分～30分程度） 複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。 活動報告書について5分程度のプレゼンテーションを含みます（注）。

（注）情報通信プログラムのプレゼンテーションの実施方法等の詳細は以下のとおりです。

- ・ 活動報告書で複数の項目を挙げている場合は、1つの主題にしぼってください。
- ・ プレゼンテーションは、ノートパソコンのプレゼンテーションソフト（パワーポイントなど）か、ポスター（最大A0サイズ）で行なってください。タブレット端末は使用できません。
- ・ 資料の配布はできません。
- ・ ノートパソコンを用いたプレゼンテーションに必要なスクリーンとプロジェクタ、ポスターを掲示するためのボードとマグネットはこちらで準備しますが、ノートパソコンかポスターを必ず持参してください。
- ・ ノートパソコンとプロジェクタを接続するケーブルはこちらで用意しますが、プロジェクタの接続端子はVGA（D-Sub 15ピン）又は標準のHDMI（タイプA）ですので、必要な変換コネクタは持参してください。
- ・ 作品の紹介を行う場合、動画や写真などにして、プレゼンテーションやポスターに含めてください。
- ・ 試験中は持参したノートパソコンのインターネットへの接続はできません。

Ⅱ. 選考日時、試験場及び携行品等

【第1次選考】 各プログラムとも書類選考のみのため、試験は実施しません。

【第2次選考】

- ア. 選考日時 令和8年11月16日（月）
詳しくは、第1次選考結果通知の際にお知らせします。
- イ. 試験場 宮崎大学工学部（木花キャンパス）
宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL：0985-58-2874
- ウ. 携行品 ①宮崎大学入学試験受験票〔総合型選抜Ⅰ〕
②筆記用具
③各プログラムで指定された物品

(2) 配点及び合格判定基準

I. 配点

【第1次選考】

	書類審査 (調査書・自己推薦書・活動報告書)	合計
全プログラム	100	100

【第2次選考】

	書類審査	筆記試験	小論文	個人面接	合計
化学生命プログラム	100	100	60	240	500
土木環境プログラム	100	200	—	200	500
半導体サイエンスプログラム	100	200	—	200	500
電気電子システムプログラム	100	100	100	200	500
機械知能プログラム	100	100	—	300	500
情報通信プログラム	100	200	—	200	500

II. 合格判定基準

【第1次選考】

第1次選考の合計得点（100点満点）により順位付けを行い、合否を決定します。合計得点が同点の場合には、同順位とします。

第1次選考の合格者数の上限は、各プログラムとも募集人員の4倍程度とします。

【第2次選考】

本学が指定する教科・科目をすべて受験しなければ、第2次選考の合否判定の対象となりません。

第2次選考の合計得点（500点満点）で順位付けを行い、合否を決定します。ただし、個人面接において、工学部のアドミッション・ポリシーに適合しないと判断した場合は不合格となる場合があります。

なお、合計得点が同点の場合には、化学生命プログラム及び電気電子システムプログラムは、①個人面接、②筆記試験、③小論文の点数の高い方から、土木環境プログラム、半導体サイエンスプログラム、機械知能プログラム及び情報通信プログラムは、①個人面接、②筆記試験の点数の高い方から順位付けを行います。

7. 受験上の注意事項

(1) 試験前日までの注意事項

- ① 第2次選考の試験場については、11月13日（金）の午後から掲示します。ただし、建物に立ち入ることとはできません。
- ② 重要なお知らせ等がある場合は、以下の本学ホームページにてお知らせしますので、各自で確認してください。
URL：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/>
- ③ 天候や交通機関の運行状況等を確認のうえ、代替の移動手段（航空機が欠航した場合に鉄道で移動する等）を確認しておく等、遅刻することの無いよう、万全の準備を行ってください。

(2) 試験当日の注意事項

- ① **本学の受験票を必ず持参**してください。
- ② 指定された時間までに指定された集合場所にて待機してください。
また、やむを得ない事情で遅刻する場合は必ず以下へご連絡ください。
・工 学 部 試 験 場 ： 教務・学生支援係 Tel：0985-58-2874
- ③ 試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ④ 受験票に記載の「**受験にあたっての注意事項**」を必ず確認してください。
- ⑤ 机の上には、受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの及びナイフ類を除く。）、直線定規（分度器機能付及び三角定規は不可。線引用のもののみ可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの（それらの機能の有無が判別しづらいものを含む。）、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー及び大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）以外の所持品を置いてはいけません。ただし、情報通信プログラムのプレゼンテーション時にはノートパソコンの持ち込みを可とします。
- ⑥ 出願後の不慮の事故等により、試験時間中、机の上に置けるもの以外のものを使用したい場合は、障がい等のある入学志願者の事前相談（4ページ）に記載の③相談先へ連絡してください。
- ⑦ 試験室では監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は、不正行為となることがあります。また、試験時間中に用があるときは手を挙げてください。
- ⑧ 試験中の退室はできません。ただし、体調不良等の場合は一時退室を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ⑨ 試験中は、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用してはいけません。また、これらの電子機器類は電源を切り、かばん等に入れ、身に付けずにください。身に付けていたり、手に持っている場合、不正行為となることがあります。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。（出願後の不慮の事故等により、試験時間中、補聴器等を使用したい場合は、障がい等のある入学志願者の事前相談（4ページ）に記載の③相談先へ連絡してください。）
- ⑩ 試験中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。
- ⑪ 耳栓は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。

(3) チャットボットについて

本学ホームページ（<https://www.miyazaki-u.ac.jp/>）のトップ画面に「もうくんチャットボット」が表示されます。「受験生向けQ&A」には過去の受験生からの質問に対する回答を掲載していますので、ご確認ください。



8. 不正行為について

(1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ① 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の登録や記入（出願登録時に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- ② カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ④ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑦ 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン（注）、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとする。
- ⑨ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

(2) 上記（1）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、（1）と同様です。

- ① 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン（注）、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

(注) 出願後の不慮の事故等により、試験時間中、補聴器等を使用したい場合は、障がい等のある入学志願者の事前相談（4ページ）に記載の③相談先へ連絡してください。

9. 合格者発表

(1) 下記の日時から本学ホームページ (<https://www.miyazaki-u.ac.jp>) に合格者の受験番号を掲載します。

(2) 合格通知書の送付等については、以下のとおりです。

【第1次選考】

日 時	合格通知書について
令和8年10月20日（火）10時（予定）	合格者には第1次選考合格通知書及び第2次選考試験日程通知書を送付します。不合格者にはその旨の通知と検定料一部返還手続きの書類を送付します。 合格者本人宛に発送する『合格通知書』が正式なものとなりますので、必ず『合格通知書』で確認してください。

【第2次選考】

日 時	合格通知書について
令和8年12月4日（金）10時（予定）	本学から受験者へ紙の『合格通知書』は送付しません。合格者は、本学から本人宛に送付するメールに記載のWeb入学手続きシステムから『合格通知書』をダウンロードしてください。この『合格通知書』が正式なものとなりますので、必ず確認してください。なお、メールは出願時のメールアドレスに送信します。

(3) 合格者発表に関する電話等の照会には一切応じません。

(4) この総合型選抜では、本学で学ぶために必要不可欠な資質を評価・審査します。そのため、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

10. 入学手続等

(1) 入学手続期間

令和9年2月17日（水）17時まで

上記期日までに入学手続きを完了しない者は、総合型選抜合格者としての権利が消滅します。
「11.入学手続に関する注意事項」を必ずご確認ください。

(2) 入学手続方法

合格者には、出願時のメールアドレスに入学手続きに関する案内を送信しますので、入学手続期間内にWeb入学手続システムにログインし、所定の手続きを完了してください。

(3) 納入金

① 入学料 282,000円

(注1) 入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

(注2) 既納の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

①入学料を払い込んだが、入学手続をしなかった場合

②入学料を誤って二重に払い込んだ場合

※返還にかかる手数料は、原則、納入者の負担とします。

② 授業料 前期分 267,900円 後期分 267,900円 年額 535,800円

(注1) 授業料は、新学期開始後にお支払いいただくことになります。

(注2) 授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

授業料に関する事項はホームページ

(<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/school-and-admissionfee/>)
にてご確認ください。

(注3) 授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。

(注4) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(4) 高等教育の修学支援新制度

令和2年度から新設された制度で、以下の2つの支援からなります。

・日本学生支援機構の給付奨学金（原則返還不要）

・入学料・授業料の免除又は減額

対象：住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生（留学生や大学院生は対象外）、多子世帯（扶養する子供が3人以上の世帯）

※申込資格や選考基準（収入や成績の基準）は以下のサイトを確認ください

日本学生支援機構（給付奨学金：申込資格や選考基準）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html>

(5) 入学料免除

次のいずれかに該当する特別な事情により、納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は一部を免除することがあります。

- ① 令和9年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者 ※第Ⅳ区分（私立理工農）除く
- ② 令和9年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者
- ③ 入学前1年以内において本人若しくは本人の学資を主として負担している者が大規模災害に被災した場合
※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限り
（4）に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。
※③の対象となる災害については、令和9年2月中旬頃に本学学生支援関係HP上で通知予定。2月以前に入学手続きをされる方で、該当の可能性がある場合は、下記問い合わせ先までご相談ください。

(6) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収を猶予することができます。

- ① 令和9年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者 ※第Ⅳ区分（私立理工農）除く
- ② 令和9年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者
- ③ 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合
- ④ 入学前1年以内において本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
- ⑤ 入学前1年以内において本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ⑥ 上記④⑤に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合
※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限り
（4）に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。

(7) 授業料免除

次のいずれかに該当し、授業料の納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は一部を免除することがあります。

- ① 令和9年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者 ※第Ⅳ区分（私立理工農）除く
- ② 令和9年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者
- ③ 本人若しくは本人の学資を主として負担している者が大規模災害に被災した場合
※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限り
（4）に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。
※③の対象となる災害については、令和9年2月中旬頃に本学学生支援関係HP上で通知予定。

高等教育修学支援体制、入学料免除・徴収猶予、授業料免除に関する問い合わせ先
宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課

電話：0985-58-7976（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

本学学生支援関係HP ※最新情報は以下のサイトをご参照ください

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/news/attention/campus-life-info/2024/10/20254-3.html>



(8) 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構をはじめ都道府県・市町村・各種団体等による奨学金があります。これらはいずれも、人物、学業成績が優秀であり、経済的理由により学資支弁が困難な者を対象に本人の申請に基づき選考のうえ貸与又は給付されます。

また、修学意欲の向上及び学修研究活動の活発化を促し優秀な人材の輩出を図ることを目的とし、学業成績の優秀な学生のますますの活躍を応援するため、本学独自の「夢と希望の道標」奨学金給付制度があります。

奨学金に関する問い合わせ先

宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課

電話：0985-58-7140（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

本学学生支援関係HP ※最新情報は以下のサイトをご参照ください

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/scholarship/>



(9) 教育用ノート型パソコンの購入・必携について

国際社会におけるネットワーク化が進む中、「高度情報化時代に対応できる情報処理能力と倫理観を持った人材の育成」が必要となっています。

宮崎大学では、1年次の教養教育開始時からコンピュータを使った文書作成、データを図表化する方法等の習得、ネットワークを利用して情報を受信・発信する能力の習得等、情報関連の教育を実施しています。また、専門教育に関しても、講義・実験のレポート作成や予習、復習のため、インターネットからの情報収集等が必要不可欠であります。

以上のことから、宮崎大学の教育方針をご理解いただくとともに、学生の皆さんには入学時に各個人でノート型パソコンをご準備していただくようお願いいたします。

追って、宮崎大学で最低限必要とするパソコンの性能等については、入学手続き時に再度ご案内いたします。

(10) 錦本町ひなたキャンパスについて

本学では令和7年4月より地域の中核大学として教育・研究の更なる充実と、本学が有する多様な“知”の社会への還元・発信を実現するための「まちなか」でのフィールドの必要性について様々な検討を進め、錦本町ひなたキャンパスとして宮崎市錦本町（にしきほんまち）に新たな拠点を設けました。

本学のメインキャンパスは木花キャンパスと清武キャンパスですが、カリキュラムによっては、授業科目の一部を錦本町ひなたキャンパスで開講する予定です。受講時間割によっては、メインキャンパスからの移動を伴う場合があります。

詳細については、大学ホームページ等でご案内いたします。

(11) 在学中の保険制度について

本学では、学生が安心して教育研究活動ができるように、学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険（略称「学研賠」）を取り扱っています。

「学研災」は、正課中、学校行事中、課外活動中及び学校施設内にいる間、並びに通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故により、加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度であり、全員加入することをお願いしています。また、「学研賠」は、加入者が教育研究活動中に他人にケガを負わせた場合や、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

これらの保険制度についての詳細と加入手続きについては、Web入学手続きシステム内でご案内します。

在学中の保険制度に関する問い合わせ先

宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課

電話：0985-58-7882（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

本学学生支援関係ホームページ ※最新情報は以下のサイトをご参照ください。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/campus-life/student-insurance/>

(12) 学生寄宿舍への入居

学生寄宿舍への入居を希望する者（外国人留学生は除く）は、本学学生支援関係ホームページ「学生寮（学生寄宿舍）」に11月初旬に掲載する要項及び申請書類をダウンロードし、申請書類を提出期限までに提出してください。

学生寮HP：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/dormitory/>



学生寄宿舍の概要

寄 宿 舎 名	男子寄 宿 舎	女子寄 宿 舎	国 際 交 流 宿 舎
収 容 定 員	100人	100人	165人
募 集 人 員	8人	8人	9人
入 居 資 格	学部男子学生	学部女子学生	学部学生（男・女）
入居許可期間	1年間（令和9年4月～令和10年3月） ※4年間を保証するものではありません。		
寄 宿 料	月額 7,000円		月額 4,700円
構 造	鉄筋コンクリート5階建		鉄骨鉄筋コンクリート8階建
居 室 定 員	1人（個室）		
居 室 面 積	9㎡	9㎡	11㎡
共 用 施 設	補食室（自炊可能）、浴室、洗濯室、トイレ（国際交流宿舎は居室に設置）		
諸 経 費	光熱水費等 月額 7,000円程度		光熱水費等 月額 8,800円
所 在 地	〒889-2155 宮崎市学園木花台西1丁目1番地		

（注1）募集人員には、学校推薦型選抜合格者、総合型選抜合格者、帰国生徒選抜合格者、社会人選抜合格者及び編入学試験合格者が含まれます。

（注2）在学中に寄宿料の改定が行われた場合は、改定時から新寄宿料が適用されます。

（注3）建物内及び周辺に喫煙場所はありません。

学生寄宿舍に関する問い合わせ先

宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課 電話：0985-58-7142（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

11. 入学手続に関する注意事項

総合型選抜の合格者は、その趣旨からみて入学手続を行い入学するのが当然ですが、特別の事情があり、合格者本人が令和9年2月17日（水）17時までに「入学辞退願」を本学学長に提出し、その承認を得た場合に限りその入学辞退を認めます。

「入学辞退願」を提出して当該大学の入学の辞退を承認されない限り、本学又は他の国公立大学・学部を受験しても、その国公立大学・学部の合格者とはなりません。

12. 個人情報の取扱いについて

- (1) 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (4) 上記（2）及び（3）の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より該当業務の委託を受けた業者において行うことがあります。
- (5) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報等に限り、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知されます。
- (6) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

13. 入学試験成績の情報開示

本学では、入学試験の結果について、プログラム毎に入学試験実施状況をホームページ等に掲載し公表していますが、試験成績（得点・評価・順位）の個人情報については、受験者本人からの請求に基づいて下記の要領で開示します。

記

1. 開示請求者
本学が実施した令和9年度入学試験を受験した者
2. 開示請求の方法
Web 出願システム上で、出願登録時に「個人成績開示請求」の欄を「希望する」と選択してください。
※個人成績開示請求は必ず出願手続の際に行う必要があります。
3. 開示請求期間
令和8年9月17日（木）から9月28日（月）
4. 開示情報の内容
総合得点による順位
5. 開示期間
令和9年5月12日（水）から6月11日（金）
6. 開示の方法
個人成績開示をオンライン上で実施します。
開示期間中は Web 出願システムにログインの上、個人成績を確認できます。詳細は令和9年4月下旬下記に掲載します。
個人成績開示案内URL：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/disclosure.html>
7. 開示請求手数料
1 選抜ごとに 800 円を徴収します。入学検定料の支払い時に併せてお支払いください。
8. その他の注意事項
 - (1) 開示期間を過ぎての開示請求は原則受け付けません。
 - (2) 郵送、電話、メール及び学び・学生支援機構入試課の窓口での開示請求については受け付けません。
 - (3) 既納の開示請求手数料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ア 入学検定料を払い込んだが出願しなかった場合に、入学検定料の返還請求と同時に返還請求をした場合
 - イ 入学検定料と開示請求手数料を誤って二重に払い込んだ場合に、入学検定料の返還請求と同時に返還請求をした場合

入学試験情報の開示に関する問い合わせ

宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電話：0985-58-7138

14. 統計資料

令和8年度宮崎大学選抜実施状況

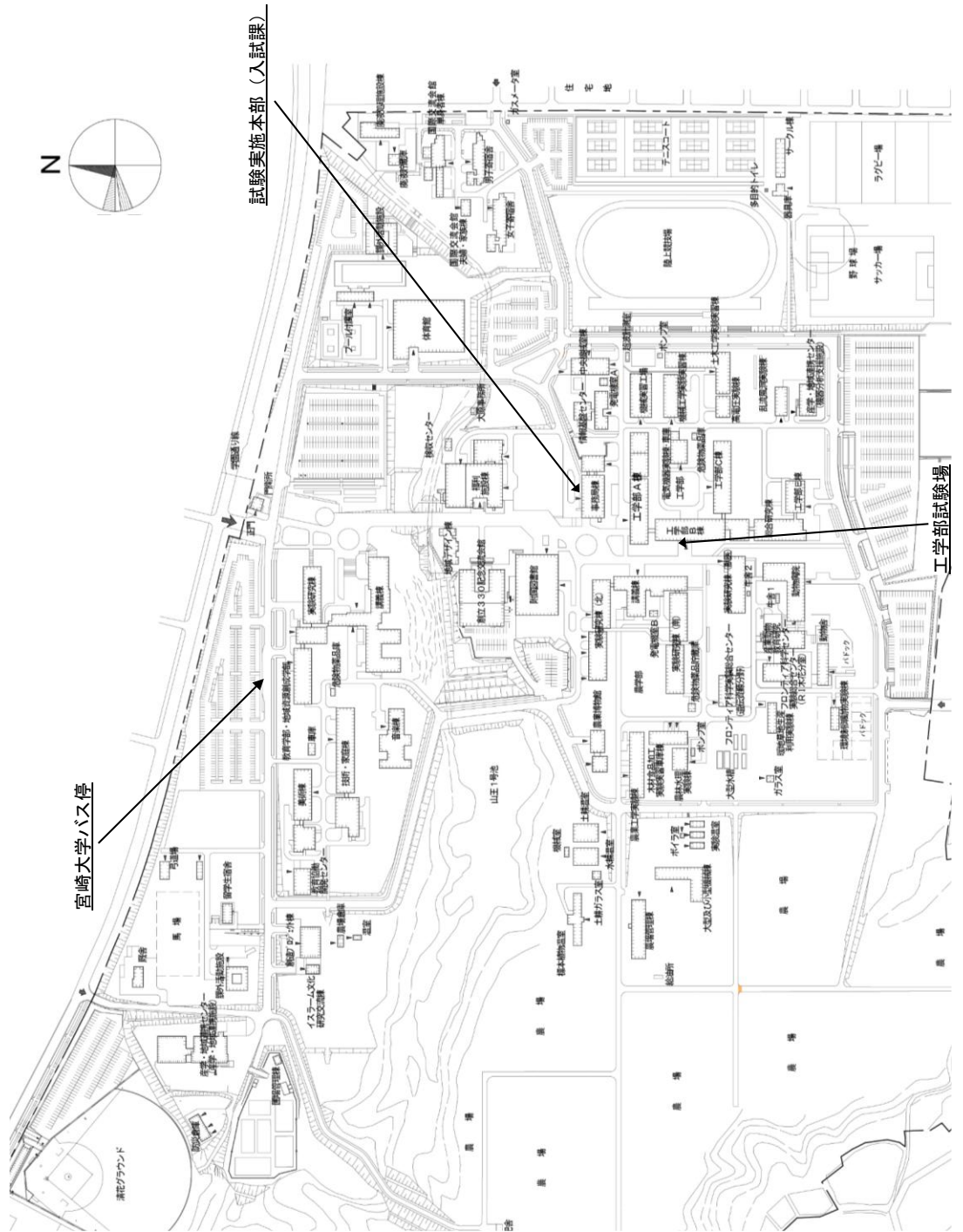
【総合型選抜Ⅰ】

学部	学科等	募集人員	志願者		受験者		合格者		入学者	
			総数	倍率	総数	(女子)	総数	(女子)	総数	(女子)
教育学部 学校教育課程	小中一貫教育コース	13	27	2.1	25	(18)	12	(7)	12	(7)
	小学校主免専攻	5	18	3.6	16	(14)	5	(5)	5	(5)
	中学校主免専攻(音楽)	8	5	1.1	5	(4)	3	(2)	3	(2)
	中学校主免専攻(美術)		0		(0)	0	(0)	0	(0)	
	中学校主免専攻(保健体育)		4		(0)	4	(0)	4	(0)	
工学部	工学科	12	31	2.6	31	(2)	10	(1)	10	(1)
	化学生命プログラム	2	0	0.0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	土木環境プログラム	2	10	5.0	10	(1)	2	(1)	2	(1)
	半導体サイエンスプログラム	2	8	4.0	8	(1)	2	(0)	2	(0)
	電気電子システムプログラム	2	2	1.0	2	(0)	2	(0)	2	(0)
	機械知能プログラム	2	7	3.5	7	(0)	2	(0)	2	(0)
	情報通信プログラム	2	4	2.0	4	(0)	2	(0)	2	(0)
農学部	農学科	25	71	2.8	59	(37)	25	(20)	25	(20)
	動植物資源生命科学コース	8	30	3.8	26	(16)	8	(6)	8	(6)
	森林環境持続性科学コース	3	9	3.0	9	(5)	3	(1)	3	(1)
	海洋生命科学コース	4	20	5.0	12	(7)	4	(4)	4	(4)
	応用生命化学コース	10	12	1.2	12	(9)	10	(9)	10	(9)
合計		50	129	2.6	115	(57)	47	(28)	47	(28)

※受験者は、第2次選考を受験した人数。

15. 試験場配置図

宮崎大学（木花キャンパス）入学試験場



宮崎大学 位置図



木花キャンパスへの交通アクセス (教育学部・工学部・農学部・地域資源創成学部)

〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

【宮崎交通バスを利用する場合】「宮崎大学・大学病院」行に乗車
 「宮崎駅」→「橘通り」→「宮交シティ」→「宮崎大学」停留所にて下車
 (約45分) (約40分) (約30分)

【タクシーを利用する場合】
 ○宮崎空港から：約20分 ○JR木花駅から：約10分
 ○JR清武駅から：約15分 ○JR南宮崎駅から：約25分

清武キャンパスへの交通アクセス (医学部)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200番地

【宮崎交通バスを利用する場合】「宮崎大学・大学病院」行に乗車
 「宮崎駅」→「橘通り」→「宮交シティ」→「大学病院」停留所にて下車
 (約45分) (約40分) (約30分)

【タクシーを利用する場合】
 ○宮崎空港から：約20分 ○JR木花駅から：約15分
 ○JR清武駅から：約10分 ○JR南宮崎駅から：約25分

各種問い合わせ先

入試全般	学び・学生支援機構入試課	0985-58-7138
入学手続	学び・学生支援機構総務係	0985-58-7427
授業料納入	財務部財務課	0985-58-7122
授業料免除	学び・学生支援機構学生支援課	0985-58-7976
奨学金	学び・学生支援機構学生支援課	0985-58-7140
学生寄宿舍	学び・学生支援機構学生支援課	0985-58-7142

宮崎大学の入試に関するお問い合わせ先

宮崎大学学び・学生支援機構入試課

〒889 - 2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
電 話 0985-58-7138
ホームページ <https://www.miyazaki-u.ac.jp/>



宮崎大学ホームページに表示されるチャットボットもご利用ください。多くの質問に対応しております。土日、夜間でもご利用いただけます。

【利用方法】

質問したい事項をメニューから選択するか、質問やそのキーワードを文字で入力いただくとAI（人工知能）が自動回答します。